

未来価値を創る玉手箱「地域協創スペシャリスト」育成プログラム

工業科と商業科について専門性を追究するとともに、学科間連携から「環境保全」、「ビジネス」、「地域資源」の有効利用の面から多角的で実践的・探究的な考え方と行動ができ、かつ地域の産学官や異業種とも連携し、新たな付加価値・産業の創発（オープン・イノベーション）ができる「地域協創スペシャリスト」の育成を目指す。
【コンソーシアムの体制】

○商業系「地域人教育推進委員会」
飯田市 松本大学 飯田信用金庫

○建設系「夢まちづくり委員会」
飯田建設業協会 建築士会 土木会

○機械電子電気系「未来ものづくり委員会」
飯田精密機械工業会 電子工業会 商工会

目標

○探究型プロフェッショナルとしての「高度な専門性」

共通教科を含む学科間連携と学科融合を通し、各学科の専門的な技術などについて広く深く探究できる教育課程を構築

○地域人教育の実践を通じた主体的な「課題解決力」

「ものづくり」と「ビジネス」を相互に関連付けながら、「地域人教育」を通じた課題解決力の育成に資する教育課程を構築

○地域産学官や異業種と協働して新しい付加価値を創り出す「協創力」

各コンソーシアムと連携した諸活動を、学科の枠を越えて横断的に実施し、「協創力」の育成を目指す教育課程の構築

課題

・「課題解決力」育成に向けた、学科連携・学科融合グループによる課題研究（R03～実施）
・海外交流事業における「協創力」育成
・新たな授業、取組の増加による教員の多忙化
・事業終了後の予算措置 他

成果

・コンソーシアムと連携した各種講習会等の実施
・学校設定科目「地域ビジネスと環境」の実施向け模擬授業を実施（R03～課題解決力へ）
○目指す資質・能力の育成につながる取組を実現

・商業科「地域人教育」の実施
・普通教科における「協創教育基礎」の実施に向け、「科学と人間生活」で飯田下伊那地域の気象災害や地震災害等を題材に模擬授業を実施
○地域を題材にし、地域と連携した学びの実現

・学校設定科目「地域活性プロジェクト」の授業開始
・学校地域協働推進委員会の開催
○学科融合グループと地元企業との協働によるPBL授業の実現

